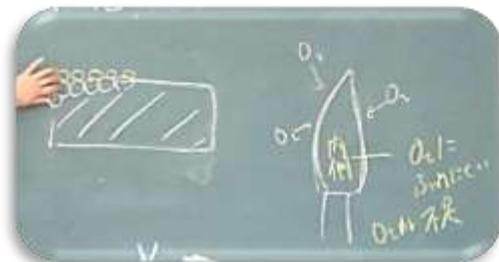




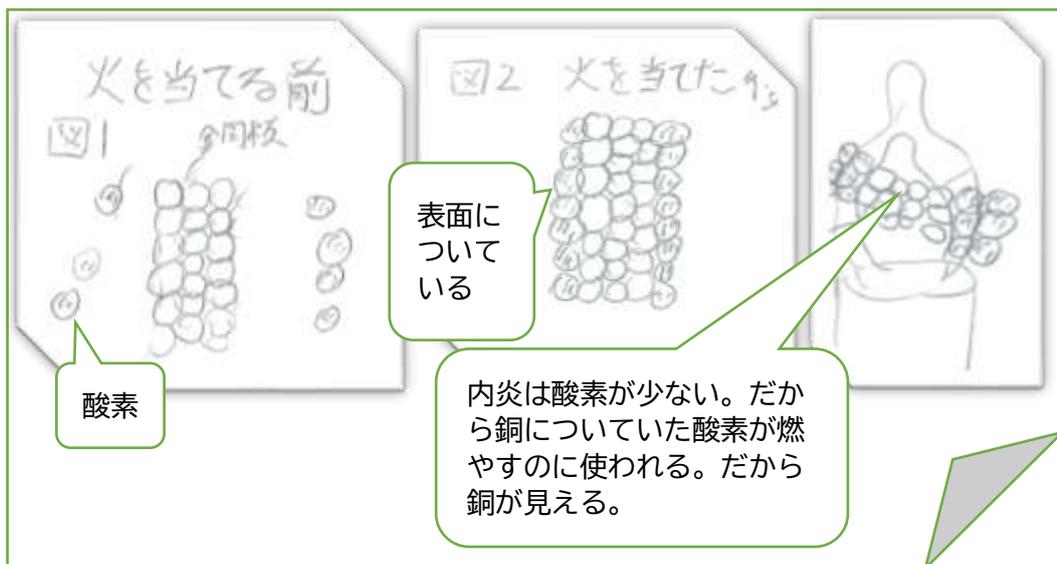
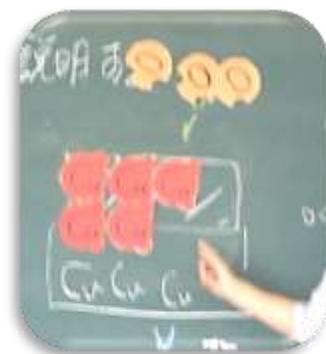
授業が楽しい!

2年生の理科の授業で、「酸化銅を炎の内側の部分に当てると、なぜ銅に戻るのだろう。」という質問が出されました。個人で考えたあと、班で話し合い、「酸素と表面の銅がはがれるんじゃない?」とか「炎の青い部分は酸素が少ないから・・・」などいろいろな意見を出し合いました。

時間をおいて、先生のヒントをもとに生徒は考えを深めていきます。教室の後方の席のKさんは、ひらめきました!そして、Kさんが班の人に説明し、班員は「うんうん。そうか。」と言って理解できた様子でした。ところが理科が大の苦手な私は、Kさんの説明を聞いているときは、なんとなくわかったような気になりましたが、自分で説明しようとする、途中でわからなくなってしまったので、Kさんにそのことを伝えると、翌日Kさんは私に下の図入りの紙を渡してくれました。「すごい!」Kさんの図も説明も二部野先生に匹敵するくらいわかりやすかったです!Kさんありがとう!



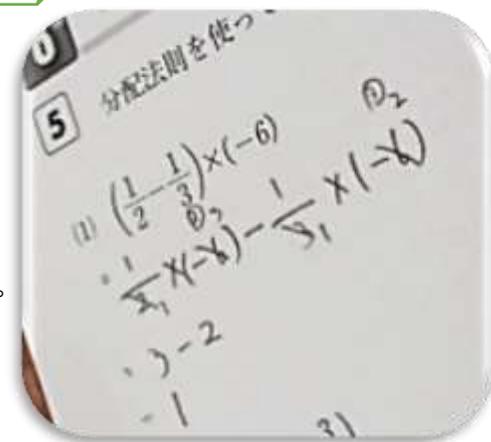
「銅を加熱することによって起こる化学変化」というと難しそうですが、「どうしてこうなるのか」ということを絵や図に書いて説明してもらおうと、理解しやすくなり、「銅以外はどうなるのかな?」と疑問がわいてきて、自分の世界が広がった気がしました。生徒も「不思議なことが起きるから理科は楽しい。」と言っていました。



1年生の数学では・・・

「分配法則を使って計算をきなさい。」という問題でしたが、問題文を読まずに計算にとりかかった人の中に()の中を通分していた人が数人いました。途中で片山先生に「分配法則を使うんで、問題に書いとるで。」と言われ、あわてましたね。答えは同じでも、指示通りに答えなければ途中の式が違います。中間テストでは、落ち着いてよく読んで答えましょう!

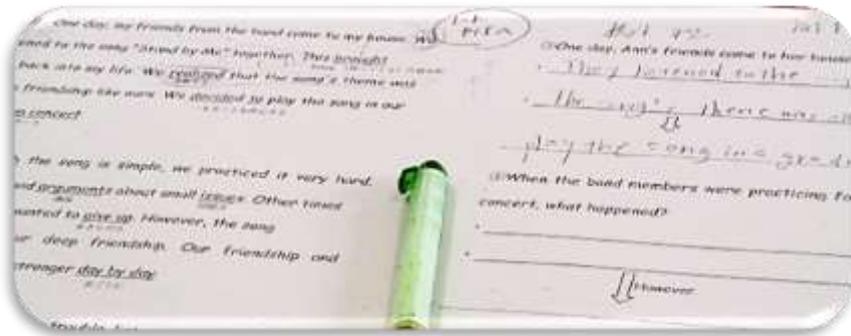
どの授業にも生徒の気づきがあり、わかった時やあわてた時の表情を見ていると、こちらまで楽しくなってきます。



(裏面に続く)

3年生の英語では・・・

“Stand by Me” についてのブログを読んで、その内容についての問いに英語で答える練習をしていました。「日本語で答える問題ならできるけれど、英語は難しいな。」と感じている人も多いと思います。



授業の中で中村先生が、「このような問題は、問いの中にヒントがありますよ。問いの文と同じ語句を英文の中でさがすことが大事。」とヒントを出されると、主語を We から They にかえて答えた人もたくさんいましたが、主語を We のまま答えてしまった人もいました。でも、答え合わせで気づき、振り返りシートに「主語をかえることを忘れないように気をつける。」と書いていたことに感心しました。まちがいをするたびに、自分が気をつける点に気づきますね！

一人一台端末を使って・・・

教室に用意された端末を使って、タブレットドリルを始めました。IDとパスワードで管理された端末での学習は、とても新鮮です。3年生は毎朝タブレットドリルを楽しみにして登校しているそうです。今後、授業でも使うようになり、ますます楽しくなりますね。



ある朝の黒板から

この日は担任の工藤先生の誕生日でした。先生に「おめでとう」の気持ちを伝えたくて、クラスの生徒たちが朝早く登校して、書いていたのです。毎日の先生からのメッセージと調和するようにかわいいイラスト入りで、心がこもった言葉は、耳にも心にも優しいですね。ほのぼのとした優しい気持ちが、一日中続きました。

